

	一般的名称	報告の概要
486	アセトアミノフェン	アセトアミノフェン中毒による死亡リスクは、若年成人群(60歳未満)と比較して高齢成人群(60歳以上)で高まることが示唆された。
487	アセトアミノフェン	アセトアミノフェン誘発性の劇症肝炎の患者において、長期抗痙攣薬投与によって死亡率が増加することが示唆された。
488	メトトレキサート	一医療機関における中枢神経原発性悪性リンパ腫患者19例を対象として放射線療法、大量メトトレキサート療法、放射線+メトトレキサート療法を検討した研究において、放射線+メトトレキサート療法において、白質脳症で1例が死亡した。
489	メトトレキサート	一医療機関における中枢神経原発びまん性大細胞Bリンパ腫患者8例を対象としてMEDOCHR療法高用量メトトレキサート+R-CHOP療法を検討した研究において後群で骨髓よく世紀に敗血症、DICにより1例が死亡した。
490	リスベリドン	リスベリドン使用患者において、HTR2C受容体遺伝子多型の変種対立形質を持つ患者は代謝症候群のリスクが高まることが示唆された。
491	ジクロフェナクナトリウム	免疫アレルギー科に入院中の患者中5例はジクロフェナクに起因しており、うち4例はアナフィラキシー反応を呈し、1例は経口投与2時間後に巨大な蕁麻疹を呈した。
492	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の長期使用により、子宮頸癌および中枢神経または下垂体癌の発生率が上昇することが示唆された。
493	標準化スギ花粉エキス	耳鼻咽喉科医745名に対する皮内注射による免疫療法(SCIT)に関するアンケートにおいて、SCITにおける副作用として、局所の異常(注射部位が腫れた、上肢の浮腫、局所の痒みなど)、ショック、呼吸困難(喘息発作、喉頭浮腫など)、全身発疹、症状悪化、悪心があげられた。
494	フルコナゾール	12例の健常人を対象とした無作為化クロスオーバー試験において、ボリコナゾールあるいはフルコナゾールとの併用のより、ジアゼパムのAUC、血中半減期が増加した。
495	ジゴキシン	うっ血性心不全のみられない心房細動患者へのジゴキシンの長期投与は死亡リスクを高めることが示唆された。
496	ボリコナゾール	12例の健常人を対象とした無作為化クロスオーバー試験において、ボリコナゾールあるいはフルコナゾールとの併用のより、ジアゼパムのAUC、血中半減期が増加した。
497	メシル酸サキナビル	健常人24例を対象とした無作為化クロスオーバー併用試験においてサキナビル投与により、エブレネンの最血中濃度、AUC、血中半減期が増加した。
498	ワルファリンカリウム	心房細動入院患者18867例を対象としたレトロスペクティブ研究において、有色人種、特にアジア人は白人に比べてワルファリン投与により、頭蓋内出血のリスクが高まることが示唆された。
499	テガフル・ウラシル	進行・再発大腸癌患者14例を対象としたテガフル・ウラシル/ロイコボリン/イリノテカン併用療法のPhase II 試験において、1例が好中球減少のため、入院した。
500	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	経口避妊薬使用者において、使用期間が増えるに伴い子宮頸部、中枢神経系、下垂体で発癌リスクが高まることが示唆された。
501	ニトログリセリン	急性非代償性心不全入院患者において、静中利尿剤単独投与の場合と比較して、利尿剤とニトログリセリンの併用静中療法で腎機能悪化の割合が高まることが示唆された。